

## 全国共済水産業協同組合連合会

代表理事会長 楠田 勇二

浜の笑顔を 共済とともに



新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、浜の皆様にご挨拶を申し上げます。

平素より J F 共済に格別のご高配を賜わり、心から厚く御礼申し上げます。

はじめに、これまでに新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、そして、台風や地震等の自然災害により被害に遭われた全国各地の J F 組合員・漁家世帯員および地域住民の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げますとともに、未だ不自由な暮らしをされています方々へ、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症については、感染防止対策の緩和により日常生活、社会活動がコロナ禍前の状態へと徐々に回復しています。一方、高齢化や漁業従事者の減少、海洋環境の変化に伴う主要魚種の不漁が続き、さらに、円安の進行、不安定な国際情勢等の影響による資源価格、物価の高騰、ALPS 処理水問題など、漁業者や J F を取り巻く事業環境は行き先が見通せず、依然として厳しい状況が続いています。

こうした中、J F グループでは、水産業の成長産業化に向けた改革の実践として、① 漁業者自らが進める浜の構造改革、② 浜の改革を支える J F グループの改革、③ 新たな制度等への的確な対応（水産政策改革等）、④ 地域社会・地域漁業への貢献の 4 つを取組みの柱として、グループ一体となって浜の構造改革に取り組んでいます。

J F 共済は、共済事業が 1983（昭和 58）年に J F の元受事業となり 2023 年に 40 年を迎えました。2024 年度は「浜の笑顔を 共済とともに J F 共済 3 か年計画」の中間年度として、重点取組施策である浜のあんしんサポート運動を J F 共済の活動としてさらなる定着化をはかり、J F 組合員・漁家世帯員および地域住民の皆様に対して、J F 共済を広く浸透させ、一人ひとりに寄り添った保障の提供を行ってまいります。

また、J F が安定した事業運営をはかられるよう、共済事業収入の確保・伸長に向けた提案活動の実施、J F ・ J F 共水連が一体となった共済推進体制の整備、J F 共済事業をささえる J F 役職員・ J F 共水連職員の育成などの重点取組施策を引続き展開し、共済事業量目標の達成に邁進してまいります。

また、J F の共済事務負担の軽減を図るため、業務の効率化に務め、共済事業に取り組みやすい環境作りを行ってまいります。

J F 共済は、引き続き J F 組合員・漁家世帯員および地域住民の皆様にご安心と安全をお届けできるよう役職員一同取り組んでまいります。関係者の皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。